平成26年7月11日（金）
白石区早朝街頭啓発

北海道建設新聞掲載

スピードダウン促す
白石厚別建協 早朝街頭啓発

南郷通で安全運転を呼び掛けた

白石厚別建設協会（武藤征一会長）は11日、交通量の多い白石区内の南郷通で、交通安全の早朝街頭啓発を実施した。

2011年から取り組んでいるもの。25社の33人が、南郷通4—5丁目の南側歩道に並び、「忘れないでシートベルト」「スピードおとそう」と書かれた旗を掲げ、ドライバーに安全運転を促した。

同協会の街頭啓発は、他の団体主催行事への参加を含め白石区で4回、厚別区で2回の年6回を予定し、3回目の今回は独自開催となった。

武藤会長は「車社会の北海道では、数ある災害の中でも交通事故の占める割合が高い。街頭啓発の意義は大きい」と話している。